

平成29年観光王国みやぎおもてなし大賞について

1 趣旨

「観光王国みやぎおもてなし大賞」は、観光の振興及び地域経済の活性化に貢献し、その功績が顕著であった個人及び団体を表彰することによって、「観光王国みやぎ」の実現に向けて、観光事業者の意識啓発・意欲向上を図るとともに、宮城県全体の「おもてなし」の充実につなげていくことを目的として、平成26年度に創設したものの。

2 募集・選考

- (1) 募集期間：平成29年10月3日～平成29年12月28日
- (2) 応募件数：10件（自薦又は市町村や団体からの推薦）
- (3) 選考方法：平成30年1月19日開催の「観光王国みやぎおもてなし大賞表彰選考会議」（選考委員名簿はP3参照）により選考
- (4) 選考結果：大賞1件、奨励賞3件、選考委員特別賞1件を決定

大賞：観光による地域活性化のモデルとなる最も優れた取組
 奨励賞：観光による地域活性化のモデルとなる優れた取組
 選考委員特別賞：他の地域の模範となる取組

3 受賞者（敬称略）

(1) 観光王国みやぎおもてなし大賞（1件）

受賞者	取組名／評価のポイント
観光チーム気仙沼 (気仙沼市)	<p>【郷土の様々な資源を観光資源として発掘し商品化する体験型観光の取組「しごと場・あそび場ちょいのぞき気仙沼」の実施の取組】</p> <p>気仙沼の産業、暮らしの中にある文化・伝統、自然の中での遊び等の様々な観光資源に着目し、普段見ることのできない産業の現場や気仙沼ならではの体験など、観光客が楽しめる個人向け体験プログラムを展開している。実施されたプログラムへの参加者からの評価も高く、平成29年は毎週末開催され、プログラム内容も益々充実されてきており、参加者は年々増加している。</p> <p>本取組は地域の産業と観光を融合させ、観光客が楽しめる地域の魅力として継続的に発信しており、観光による地域活性化のモデルとなる非常に優れた取組である。</p>

(2) 観光王国みやぎおもてなし大賞奨励賞（3件）

受賞者	取組名／評価のポイント
作並振興協会 (仙台市)	<p>【ラサンタ及び休耕地を活用した交流人口の拡大の取組】</p> <p>湯のまち作並観光交流館ラサンタが、地域住民に親しまれ、また、地域の魅力発信及び仙山交流の拠点となることを目的に、施設内において、「作並手づくり市」や「山形県農産物フェア」、「そばづくり体験」、「作並音楽祭」、「ラサンタ蚤の市」など、多彩なイベントを企画し、多くの観光客等呼び込んでいる。</p> <p>本取組は宮城県と山形県の県境に近く国道に面するという施設の立地条件を有効に活用しており、観光による地域活性化のモデルとなる優れた取組である。</p>

<p>石巻専修大学経営学部・大学院経営学研究科 石原研究室 (石巻市)</p>	<p>【石巻地域における水産資源を活用した産学・異業種連携体制による着地型観光の開発と実証事業の展開の取組】</p> <p>石巻地域の基幹産業である水産業や地域の「食」をテーマとした着地型観光の開発を推進することを目的に、産学異業種連携による「石巻フードツーリズム研究会」を設立し、観光客のニーズ把握のための調査、JR東日本の「駅からハイキング」におけるツアー事業や70以上の事業者が参加する「石巻おでんプロジェクト」などに取り組んでいる。</p> <p>本取組は産学が連携し観光客のニーズを捉えて地域の産業や食を活かした観光に取り組んでおり、観光による地域活性化のモデルとなる優れた取組である。</p>
<p>日本一はっとフェスティバル実行委員会 (登米市)</p>	<p>【日本一はっとフェスティバル開催の取組】</p> <p>登米地方に藩政時代から伝わるとされる郷土料理「はっと」の魅力を発信すべく、全国から30種類以上のはっと料理を集めた「日本一はっとフェスティバル」を14年間継続して開催している。本イベントの来場者数が年々増加しているほか、来場者の投票によりはっと大賞を選出する来場者参加型のイベントであり、各種マスコミにも多く取り上げられ、登米地域の食文化を広く発信し、地域への来訪を促している。</p> <p>本取組は、地域の食文化の普及と魅力発信に継続的に取り組んでおり、観光による地域活性化のモデルとなる優れた取組である。</p>

(4) 観光王国みやぎおもてなし大賞選考委員特別賞（1件）

受賞者	取組名／評価のポイント
<p>一般社団法人南三陸町観光協会 (南三陸町)</p>	<p>【日台交流プログラム：日本台湾学生の交流を通して進める地域型インバウンドの取組】</p> <p>観光や国際交流に関心を有する日本と台湾の大学生を対象に南三陸をフィールドにした交流キャンプを実施し、地域学・交流学を通じたインバウンド向けのプログラムやコンテンツの研究・開発を行い、台湾からの若年層の受入や地域の訪日外国人受入態勢及び機運の向上を図った。</p> <p>本取組は民泊による地域との交流や地域の若手を地域コーディネーターへ起用するなど、日本と台湾学生による調査・研究を通じて、地域の産学官連携や異世代のネットワーク構築に繋がる発展的交流の機会となっており、観光による地域活性化や人材育成のモデルとなる優れた取組である。</p>

4 表彰式

- (1) 日 時 平成30年2月6日（火）午後1時から
- (2) 場 所 県行政庁舎4階 特別会議室 ※知事から賞状、記念品を授与

5 今後の対応

今回の表彰については、団体等の名称とともに、その取組を県ホームページで紹介、PR予定。

(参考) 観光王国みやぎおもてなし大賞表彰選考会議委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長	佐藤 勘三郎	(株)ホテル佐勘代表取締役
2	宮城県商工会議所連合会常任幹事	今野 薫	仙台商工会議所専務理事
3	みやぎおかみ会副会長	高橋 弘美	鳴子ホテル女将
4	一般社団法人日本旅行業協会東北支部長 (JATA)	森 吉弘	(株)JTB 東北代表取締役社長
5	学識経験者(東北大学)	堀切川 一男	東北大学大学院工学研究科教授
6	学識経験者 (宮城学院女子大学)	宮原 育子	宮城学院女子大学現代ビジネス学部長
7	学識経験者 (宮城学院女子大学)	J.F.モリス	宮城学院女子大学日本文学科教授
8	宮城県経済商工観光部国際経済・観光局長	高砂 義行	—